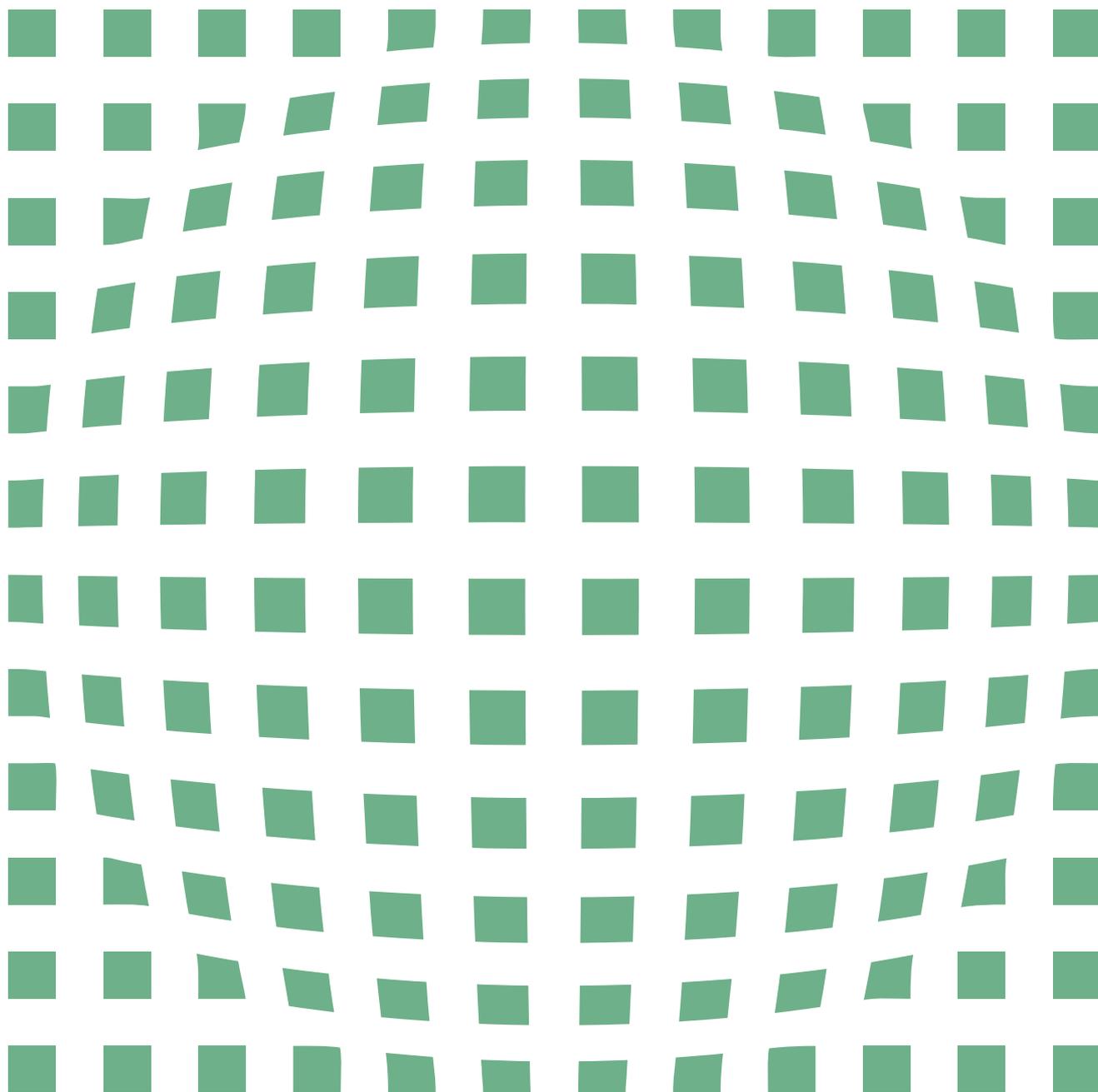


第37回

日本観光研究学会 全国大会 学術論文集

Proceedings of JITR Annual Conference

2022年12月



日本観光研究学会

Japan Institute of Tourism Research

第37回

日本観光研究学会 全国大会 学術論文集

Proceedings of JITR Annual Conference

2022年12月

タイトルをクリックして
本文へジャンプ
Adobe社が提供する
Adobe Acrobat Reader
で閲覧してください。

目次

1. 観光圏整備法と外客来訪促進法に関する法的考察 1
—観光公害(オーバーツーリズム)を被る地域住民の法的権利の差異—
渡部 友一郎(弁護士(第二東京弁護士会))
2. 仙台・秋保地区の発展過程と変化に関する研究 5
柳津 英敬(東北大学大学院経済学研究科)
3. 地域主体の観光振興策についての考察 11
—立法化で「観光の地方分権」を—
田部井 正次郎(日本観光研究学会会員)
4. コロナ禍における大型展示イベントの対応方針の変化に関する研究 15
—2020年~2022年の大河ドラマ館等を事例に—
中村 忠司(東京経済大学コミュニケーション学部)
5. クルツェンの人新世とサステナブルツーリズム 21
横山 秀司(九州産業大学)
片瀬 葉香(九州産業大学地域共創学部)
6. 観光デジタルトランスフォーメーションによる「地域とともにある観光」へ 27
—脱「観光」についての試論—
小林 裕和(國學院大学観光まちづくり学部/相模女子大学大学院社会起業研究科)
7. コロナ禍がわが国の宿泊動向に与えた影響と要因 33
—V-RESASのデータ分析(2020-2021)—
佐野 浩祥(東洋大学国際観光学部)
滝沢 勇人(東洋大学大学院国際観光学研究科)
山浦 ひなの(東洋大学大学院国際観光学研究科)
大竹 優太(東洋大学大学院国際観光学研究科)
8. 観光協会の法人化メカニズムに関する考察 39
原田 拓弥(北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院)
石黒 侑介(北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院/メディア・コミュニケーション研究院)
9. DMOのネットワーク構造に関する一考察 45
—北海道・ニセコエリアを事例とした社会ネットワーク分析—
神奈川 靖如(北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院)
石黒 侑介(北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院/メディア・コミュニケーション研究院)

10. スローツーリズムによる関係人口構築の可能性 —観光者へのアンケート調査を通して— 清水 一樹 (金沢大学大学院人間社会環境研究科)	51
11. 中小 DMO の KPI の設定・データ収集方法の検討 —群馬県下仁田町の事例から— 宮崎 友裕 (前橋工科大学大学院工学研究科) 森田 哲夫 (前橋工科大学工学部)	57
12. アウトドアスポーツに関わる法令に関する研究 —マリンスポーツを中心に— 林 恒宏 (岡山理科大学経営学部) 小倉 哲也 (太成学院大学経営学部)	63
13. 観光政策の担い手としての国際交流員 (CIR) に関する考察 呉 心儀 (北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院) 石黒 侑介 (北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 / メディア・コミュニケーション研究院)	69
14. 博物館バーチャルツアーと実際の訪問行動の相互関係についての研究 目代 凧 (東京都立大学大学院都市環境科学研究科) 呉 玲玲 (東京都立大学大学院都市環境科学研究科)	75
15. 温泉地における「ワーケーション」についての考察 —関係人口構築と旅行商品の視点から— 辻本 千春 (流通科学大学)	81
16. 周縁地域のバンドル販売による収益管理 小笠原 悠 (東京都立大学都市環境学部) 佐藤 公俊 (神奈川大学工学部)	87
17. ホテルの不動産鑑定価格に及ぼす CapEx の調整効果に関する研究 具 敏靖 (立教大学大学院ビジネスデザイン研究科)	93
18. 新たなエコロジ概念に関する一考察 関口 莉奈穂 (高崎経済大学大学院地域政策研究科) 井門 隆夫 (國學院大學観光まちづくり学部)	99
19. MICE 観光における「まちバル」方式採用の有効性 —サン・セバスチャンにおける実施事例からの考察— 葉山 幹恭 (追手門学院大学地域創造学部)	105
20. 持続可能なワイン造りがうむ観光の発展と可能性 —北海道余市郡余市町を事例に— 辻 有美子 (大阪市立大学大学院都市経営研究科)	111
21. 鶴岡市と白桦市に見るガストロノミーツーリズムのマネジメント —2つのユネスコ食文化創造都市の比較— 尾家 建生 (平安女学院大学国際観光学部)	117
22. ゼロコロナ政策下における中国のレジャー産業の行方 —レジャー産業の疲弊と蘇生から見る農村観光と アウトドアレジャーの可能性— 郭 倩 (北海商科大学)	123

23. 観光の経済効果に関する地域間の非対称性に関する分析	129
鈴木 美穂 (東京都立大学都市環境学部)	
狩野 佑季 (元東京都立大学都市環境学部)	
日原 勝也 (東京都立大学都市環境学部)	
24. 「ツアーグランプリ」受賞商品の特徴と旅行商品の差別化要因の 探索的研究	135
室岡 祐司 (九州産業大学地域共創学部)	
25. 修学旅行の事前学習が高校生のキャリア選択自己効力感に与える影響	141
花井 友美 (帝京大学経済学部)	
小口 孝司 (立教大学現代心理学部)	
26. CSR 型エシカル・ツーリズムの探求 — 沖縄県八重山郡の事例から —	147
藤井 紘司 (千葉商科大学人間社会学部)	
27. 住民の歓迎度からみるオーバーツーリズムに関する一考察 — 京都市でのアンケート調査の結果より —	153
山下 裕明 (学校法人大和学園京都ホテル観光ブライダル専門学校)	
28. 中国における日本人バックパッカーの観光行動の変化	159
板垣 武尊 (和洋女子大学国際学部)	
澁谷 和樹 (立教大学観光学部)	
29. 新型コロナウイルスにともなう海外旅行の阻害要因	165
中村 哲 (玉川大学観光学部)	
30. エゴ・ドキュメントとツーリズム、VFR — 戦争記憶とその継承、地域イメージとの関連 —	171
永井 孝充 (株式会社ジャルパック)	
31. ユーダイモニックな「旅」の研究ことはじめ — 日本一周一人旅の事例から —	177
林 幸史 (大阪国際大学人間科学部)	
32. グループ旅行における人的交流がジェネリックスキルに与える影響	181
鮫島 卓 (駒沢女子大学観光文化学類)	
松本 英明 (ANA ホールディングス株式会社デジタル・デザイン・ラボ)	
33. 東映制作『仮面ライダー (1971)』シリーズの観光史研究 — 特撮ツーリズム研究の一環として —	187
二重作 昌満 (東海大学大学院文学研究科)	
34. 観光研究における視覚調査方法の方向性に関する一考察	193
金 千 (北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院)	
35. 山岳信仰における文化的景観の持続的保全・活用に関する一考察	199
小林 昭裕 (専修大学経済学部)	
36. 茨城県における昭和戦前期の観光関係者の意識 — 雑誌『観光の茨城縣』の座談会から読み取る —	205
正木 聡 (常磐大学総合政策学部)	

37. 東北地方における温泉文化の変容について —環境省「10年後の混浴プロジェクト」を通して—	209
内田 彩 (東洋大学国際観光学部)	
山崎 瑞季 (前東北地方環境事務所十和田八幡平国立公園管理事務所)	
安藤 巖乙 ((一社)十和田奥入瀬観光機構)	
無量井 春菜 (大日本コンサルタント株式会社)	
38. 御師集落の観光化に関する事例調査 —御岳山・羽黒山・大山・戸隠御師集落の立地や施設整備状況に着目して—	215
渡辺 安菜 (東京都立大学大学院都市環境科学研究科)	
岡村 祐 (東京都立大学大学院都市環境科学研究科)	
篠 朱莉 (東京都立大学大学院都市環境科学研究科)	
菅井 純也 (東京都立大学都市環境学部)	
39. 新常態下、地方都市の交流人口獲得のための市民意識の研究 —新潟県下観光まちづくり会議を事例として—	221
近藤 政幸 (新潟経営大学)	
40. 長野県軽井沢町を事例とするリゾート地でのワーケーション施設 および喫茶の情報発信と空間の把握	227
久保 暁子 (東京大学大学院)	
安藤 奏音 (中央大学理工学部)	
劉 銘 (國學院大學観光まちづくり学部)	
安原 有紗 (公益財団法人日本交通公社)	
41. 農村体験提供者における精神的健康パターンの縦断的研究 —2011年と2021年の比較—	233
西村 千尋 (歩健学研究室)	
42. 00年代「観光まちづくり」の後景化した筋書き	237
小長谷 悠紀 (跡見学園女子大学観光コミュニティ学部)	
43. ユーザー生成コンテンツにみる訪日中国人観光者の飲食選好	243
康 乃馨 (立教大学観光学研究科)	
杜 国慶 (立教大学観光学部)	
44. UGC にみる訪日中国人観光者飲食選好の空間構造 —東京23区を事例として—	249
杜 国慶 (立教大学観光学部)	
康 乃馨 (立教大学観光学研究科)	
45. 複数拠点生活者の「まちの居場所」の有無と地域愛着に関する一考察 —Web アンケート調査の年代別結果を基に—	255
石川 美澄 (金沢星稜大学経済学部)	
46. ポストコロナのロケーションフォトウェディングの可能性 —観光の回復と持続可能な地域の視点から—	261
今野 久子 (帝京大学経済学部)	
花井 友美 (帝京大学経済学部)	
八城 薫 (大妻女子大学人間関係学部)	
47. 地方フィールドワークを経験した都市大学生の成長 —関係人口への可能性—	267
堀内 史朗 (阪南大学国際観光学部)	

48. クロノトポスの概念の活用による都市形成と対話的交流の分析 —ベルリン、ドレスデン、ライプチヒにおける戦災経験を踏まえた 都市再生の取組に着目して— 中野 宏幸 (京都産業大学文化学部) 高梨 博子 (日本女子大学文学部)	271
49. 地域と共存する宿泊施設になるために経営者に求められる視点 —日本まちやど協会に所属する宿泊施設とその経営者を事例として— 十時 葵 (片倉工業株式会社)	277
50. 地域における観光 PR 動画の活用のあり方についての一考察 —三重県と香川県の取り組みを事例として— 横川 珠里 (日本大学大学院生物資源科学研究科)	283
51. 歴史的町並み地区におけるまちづくり団体の古民家保全活動に 起因する移住・定住の実態 —福岡県八女市八女福島地区を対象として— 園木 優美子 (東京都立大学大学院都市環境科学科) 岡村 祐 (東京都立大学大学院都市環境科学科)	287
52. 北海道におけるインフラツーリズムの展開方策に関する研究 —土木遺産ツアーを対象として— 品田 康太 (日本大学大学院理工学研究科) 阿部 貴弘 (日本大学理工学部)	293
53. 複雑化する地域社会と観光者の関係 —炭鉱遺産を訪れる観光者のパフォーマンス分析— 鈴木 里奈 (北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院)	297
54. 中国におけるボトムアップ型観光振興 —河南省修武県における「美学経済活性化政策」を事例に— 秦 子琇 (東洋大学大学院国際観光学研究科) 佐野 浩祥 (東洋大学国際観光学部)	303
55. 地方における観光 MaaS のデザインと地域に与える影響 —支笏洞爺国立公園支笏湖エリアを対象とした検証結果による示唆— 千葉 里美 (札幌国際大学観光学部) 曾我 聡起 (千歳科学技術大学理工学部) 川名 典人 (千歳科学技術大学理工学部)	309
56. 観光地域住民による地域観光評価尺度の作成の試み 岡本 卓也 (信州大学人文学部)	315
57. 観光学に環境保護を反映する一考察 —コロナ禍における観光への新たな取り組みを実施した 川口短期大学の2年間の活動成果を報告する— 富吉 光則 (川口短期大学ビジネス実務学科)	321
58. ホスピタリティ・コミュニケーションのシラバス作成に向けた 基礎調査 —ホテルベテランスタッフ・インタビュー及び学生アンケート結果— 総田 はるみ (横浜商科大学商学部) 藤田 玲子 (成蹊大学)	327

59. 基礎自治体による県立高校の地域教育ガバナンスをとおした 観光教育の考察 —長崎県松浦市における地域課題解決型授業「まつナビ」構築を 事例として— 峯俊 智穂 (立命館大学経済学部) 岩田 聖子 (大阪医科薬科大学)	333
60. 教育機関における観光教育の研究課題とその視座に関する考察 宍戸 学 (日本大学国際関係学部)	339
61. カプセルホテルの再訪問意図に対する感染防止対策の影響 張 濤赫 (北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院) 李 嬌 (北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院) 朱 凱歌 (北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院)	345
62. 東日本大震災の復興とフードツーリズムの観光資源 —三陸沿岸域(岩手県釜石市～宮城県石巻市)— 高田 剛司 (立命館大学食マネジメント学部)	351
63. 復興ツーリズムの可能性について —東日本大震災から10年が経過して、ニーズ変化を考える— 稲葉 雅子 (東北大学大学院経済学研究科)	355
64. バーチャル修学旅行の課題と可能性 —コロナ禍で生まれた新しい観光体験— 岡崎 和久 (北海道大学大学院国際広報メディア観光学院)	361
65. 大久野島(広島県)のウサギ観光 —ワイルドライフ・ツーリズムにおける位置付けと管理のあり方— 笛吹 理絵 (比治山大学) ジョーンズ・トマス (立命館アジア太平洋大学)	367
66. 観光というコンテクストにおけるミュージアムの地域資源への 関わり方 —安中新田会所跡旧植田家住宅を事例として— 和泉 大樹 (阪南大学国際観光学部)	373
67. 国立公園における協働型モニタリングプログラム開発の試み —阿蘇くじゅう国立公園を題材に— 海津 ゆりえ (文教大学) 石井 信夫 (東京女子大学) 森重 昌之 (阪南大学) 川合 康央 (文教大学)	377
68. 盛岡らしさに関する研究 —盛岡市中心市街地イメージマップによる空間構成要素の分析— 柳 未来 (東洋大学大学院国際観光学研究科) 佐野 浩祥 (東洋大学国際観光学部)	383
観光研究(特集号)ならびに「日本観光研究学会全国大会学術論文集」投稿規程	389
「観光研究」ならびに「日本観光研究学会全国大会学術論文集」執筆要項	392

2022年度 大会学術委員会 (Editorial Board of JITR Annual Conference 2022)

委員長 (Chairperson)

十代田 朗 國學院大學 SOSHIRODA Akira Kokugakuin University

副委員長 (Vice-chairperson)

砂本 文彦 神戸女子大学 SUNAMOTO Fumihiko Kobe Women's University

古屋 秀樹 東洋大学 FURUYA Hideki Toyo University

委員 (Member)

内田 彩 東洋大学 UCHIDA Aya Toyo University

杉本 興運 東洋大学 SUGIMOTO Koun Toyo University

鈴木 涼太郎 獨協大学 SUZUKI Ryotaro Dokkyo University

中島 泰 (公財)日本交通公社 NAKAJIMA Yutaka Japan Travel Bureau Foundation

野口 洋平 杏林大学 NOGUCHI Yohei Kyorin University

長谷川 明彦 阪南大学 HASEGAWA Akihiko Hannan University

花井 友美 帝京大学 HANAI Tomomi Teikyo University

林 幸史 大阪国際大学 HAYASHI Yoshifumi Osaka International University

松田 充史 大阪成蹊大学 MATSUDA Mitsufumi Osaka Seikei University

村瀬 慶紀 常葉大学 MURASE Yoshiki Tokoha University

森重 昌之 阪南大学 MORISHIGE Masayuki Hannan University

拡大委員 (Extended-member)

佐野 浩祥 東洋大学 SANO Hiroyoshi Toyo University

清野 隆 國學院大學 SEINO Takashi Kokugakuin University

幹事 (Secretary)

永井 恵一 淑徳大学 NAGAI Keiichi Shukutoku University

丸山 宗志 松本大学 MARUYAMA Motoshi Matsumoto University

編集兼発行者

〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-16-19

コンフォルト池袋106 日本観光研究学会

電話 03-6709-2906 FAX 03-6709-2907

HP <https://www.jitr.jp/>